

仕 様 書 (案)

1. 概 要

- (1) 件名 ○○○○庁舎で使用する電気
(2) 需要場所 ○○○○庁舎
 東京都△△区××X丁目Y番Z号
(3) 業種および用途 官公署（事務所）

2. 仕 様

- (1) 供給電気方式，供給電圧（標準電圧），計量電圧（標準電圧），標準周波数，供給方式
および蓄熱式負荷設備の有無

- 1 供給電気方式 交流3相3線式
2 供給電圧（標準電圧） 6,000 ボルト
3 計量電圧（標準電圧） 6,000 ボルト
4 標準周波数 50 ヘルツ
5 供給方式 1回線方式
6 蓄熱式負荷設備の有無 有（水蓄熱 ○,○○○m³）
 （昼間時間から夜間時間への負荷移行を行っている。）
 計量電圧（標準電圧） ○○○ボルト

- (2) 契約電力および予定使用電力量

- 1 契約電力 常時電力 ○, ○○○キロワット
 予備電力 ○, ○○○キロワット

（契約電力とは，契約上使用できる電気の最大電力をいい，計量器により計測し，算定される値が原則としてこれを超えないものとする。また，予備電力とは，常時供給設備等の補修または事故により生じた不足電力の補給にあてるため，常時供給変電所から予備電線路により常時供給電圧と同位の電圧で供給するものとする。）

- 2 予定使用電力量 ○○, ○○○, ○○○キロワット時
 （月別の予定使用電力量は，別紙のとおり）

- (3) 契約期間

自 平成○年○月1日午前0時 至 平成○年○月○日午後12時

- (4) 電力量等の検針

自動検針装置 有
電力会社の検針方法 遠隔自動検針
計量器の構成 電力需給用複合計器（通信機能付）

- (5) 需給地点

需要場所における甲の施設した第1号柱上の東京電力株式会社の架空引込線と甲の開閉器電源側との接続点

(6) 電気工作物の財産分界点

需要場所における甲の施設した第1号柱上の東京電力株式会社の架空引込線と甲の開閉器電源側との接続点

(7) 保安上の責任分界点

電気工作物の財産分界点と同じ

3. その他

(1) 力率は、自動力率調整装置を設置し、契約期間中〇〇パーセントを保持する予定。

(2) フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。

(3) 常用（非常用）自家発電設備（〇〇〇キロボルトアンペア〇台、△△△キロボルトアンペア△台）◇台を有している。

(4) 力率の変動、その他の要因による電気料金の調整及び仕様書に定めのないその他の供給条件については、当該地域を管轄する一般電気事業者が定める特定規模需要の標準（託送）供給条件による。なお、入札価格の算定にあたっては、力率は〇〇パーセントとし、燃料費調整、太陽光発電促進付加金及び**電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金**は考慮しないこと。

(5) 料金その他を計算する場合の単位及びその端数処理は次のとおりとする。

ア 契約電力及び最大需要電力の単位は、1キロワットとし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入する。

イ 使用電力量の単位は、1キロワット時とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入する。

ウ 力率の単位は、1パーセントとし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入する。

エ 料金その他の計算における合計金額の単位は、1円とし、その端数は、小数点以下を切り捨てる。

オ 消費税額及び地方消費税額の単位は、1円とし、その端数は、小数点以下を切り捨てる。